

計量管理部会々報



年頭の御挨拶

部会長 キッコーマン食品株式会社 野田工場
製造管理部 設備グループ長 石田 哲



部会員ならびに関係官庁の皆様、明けましておめでとうございます。令和最初となる新年を迎えるにあたり一言ご挨拶申し上げます。

昨年を振り返りますと、まず大きな出来事に元号の変更がありました。今回の改元は、約 200 年ぶりの平成天皇からの譲位となり、祝賀ムードがとても強い改元になったと感じ取れました。新元号「令和」の時代も平和であることを希望したいと思います。

また昨年秋には強風を伴う台風 15 号、非常に大きな勢力の台風 19 号が関東地方を直撃しました。台風 15 号に関しては、特に千葉県の南部地区に強風による被害が発生したことが記憶にあります。千葉県南部各地で停電が発生し、倒木などによる復旧作業に時間がかかり復旧までに長い時間がかかった台風でした。また、その後の台風 19 号では非常に多くの雨量を観測し関東以北の河川での堤

防決壊が発生し、多くの被害が発生した台風となりました。このように災害が多く発生する日本においては、各家庭・企業においても危機管理の重要性が再確認されたことかと思えます。企業においては、災害による停電に対する対応として自家発電設備などを危機管理として導入する動きも見受けられます。

昨年 10 月には、消費税が 8 % から 10 % へ引き上げられました。その後の台風被害とあいまって、東北地方の景気減速が大きくなった状況でした。国際情勢に関しては、我が国の隣国である韓国と「徴用工問題」「輸出規制強化」を受け、両国の関係が悪化しました。昨年末より両国での対話が進んでいる状況ですが、今後の展開が注視されます。

このような国内外の環境の中においても、私たち計量管理を担う者としては、今後も一層の効果的な計量管理を実施し正確な計量で、生産性の向上や品質改善を実現することが求められています。今年には計量制度の改正に伴い、4 月よりホップスケール、充填用自動はかり、コンベアスケールの検定が開始される予定です。計量制度改正により、計量環境は大きく変化が進む年になります。

当部会におきましては、本年も計量管理に関する普及と啓蒙、さらには千葉県産業経済の発展に寄与することを目的として、会報の発行、ホームページの更新、ポスター・標語の募集など各種表彰、研修見学会や発表会、意見交換会、講演会の企画・運営を通して、業界の動きや計量管理情報の早期入手、さらには同業および異業種の部会員のコミュニケーション活性化に努めて参ります。今後とも合理的な運用を図り、当部会の活動が有意義なものとなりますよう努めて参りますので、部会員皆様のご支援・ご協力を宜しくお願いいたします。

最後になりますが、千葉県計量検定所をはじめ関係官庁と会員企業の益々のご繁栄と部会員の皆様方のご健勝、ご活躍を祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

年頭の御挨拶

千葉県計量検定所長
森田 雄



新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、さわやかな新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

また、皆様には、日頃から本県の計量行政の推進に御理解・御協力をいただき深く感謝申し上げます。

貴部会におかれましては、適正な計量管理の実施にご尽力いただき、本県の経済発展に重要な役割を担っているとともに、計量思想の普及啓発にも貢献されていることに深く敬意を表します。

昨年は、ラグビーのワールドカップが日本で開催され、日本代表の活躍とともに世界の一流チームのプレイが、多くの国民に興奮と感動を与えました。

その一方で、台風の度重なる襲来により、生活や産業、経済に大きな影響を受け、千葉県にも甚大な被害をもたらした年でもありました。県では、復旧・復興に向けて、被災者の生活再建や農林事業者、中小企業の事業再開等の支援に取り組んでまいります。

今年は、東京オリンピック・パラリンピックが開催され、世界中から選手、観客が訪日します。千葉県においても、幕張メッセにてレスリングやフェンシング等、一宮町釣ヶ崎海岸を会場にサーフィンが開催予定で、復旧・復興に向けて御尽力されている県民の皆様へ選手たちの懸命な姿が勇気を与えてくれるものと期待されます。

さて、計量制度は、経済や産業、文化等における基本的制度のひとつであり、計量法により適正計量の実施が確保されています。国では、計量制度の見直しを行ない、順次法の改正を行っております。昨年4月からは「第1弾自動はかり」（自動捕捉式はかり）の検定、器差検定を中心とした指定検定機関制度が導入され、併せて「燃料油メーター」や「非自動はかり」の区分においても、今後民間事業者の検定への参入促進が図られていきます。

さらに、自動はかりの検定開始と併せて、「適正計量管理事業所」において自動はかりを使用している場合は、その自動はかりに係る部分について変更届出等の提出が必要となります。このような計量制度の変化に対しては着実な対応が求められることから、県では、国や特定市と緊密な連携を図ることはもとより、貴部会とも連携を図りながら遺漏なきよう対応して参ります。

一方で、計量行政機関が抱える共通の課題として、計量士の資格を有する職員の高齢化と退職による減少があげられます。検定・検査業務に従事する職員の資格要件の撤廃や、県の行財政改革の進展の影響を受け、計量関係の知識・技能を有する職員の確保や人材育成が大きな課題となっております。このため本県では、国の計量教習への職員の派遣や、所内の研修及びOJTの充実を図るなど人材育成に取り組んでおります。

計量は、社会や経済を支える基盤を担っております。千葉県計量検定所といたしましては、県民生活の安心と産業・経済のさらなる発展に寄与していくため、検定、定期検査、立入検査及び普及啓発などの事業を着実に推進してまいりますので、今後も経済産業省をはじめ計量に携わる皆様方の一層の御支援・御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴部会の益々の御発展と会員の皆様の御健勝、御活躍を祈念申し上げ、新年の御挨拶といたします。



計量管理見学会及び発表会

計量管理発表会及び見学会

日時：令和元年9月26日（木）

見学先：J S R株式会社 千葉工場 様
 沢井製菓株式会社 関東工場 様

計量管理優良事業所発表：

J S R株式会社 千葉工場 様
 D I C株式会社 千葉工場 様

参加者：20社25名（見学会は21社26名）
 （一社）千葉県計量協会2名 総勢28名

令和元年9月26日に行われました計量管理優良事業所発表・見学会の概要を報告致します。

8：15に参加者27名を乗せて、バスは京葉銀行本店前を出発、本日の発表会会場であるJ S R株式会社 千葉工場様へ向かいました。

車中にて当部会長のキッコーマン食品株式会社野田工場 上原様よりご挨拶をいただき、担当理事と参加者の自己紹介を行いながら、渋滞に巻き込まれる事なく、予定より少し早めに到着致しました。

■ 優良事業所発表会

開会に先立ち、J S R株式会社 千葉工場 設備管理課 課長 澤口様にご挨拶を頂きました。



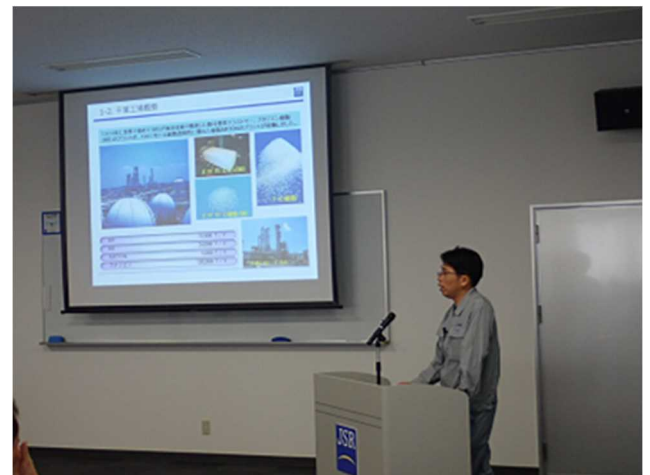
（J S R株式会社 千葉工場 設備管理課 課長 澤口様）

続いて、当部会長のキッコーマン食品株式会社野田工場 上原様よりご挨拶を頂き、優良事業所発表に移りました。



（キッコーマン食品株式会社 野田工場 上原様）

■ J S R株式会社 千葉工場様 優良事業所発表



（発表風景 J S R株式会社 千葉工場 吉本 大作様）

計量管理の概要について

1. 千葉工場概要
2. 計量管理の概要について
3. 計量管理実施の組織について
4. 計量管理規定について
5. 計量器の検査設備について
6. 計量器及び計装設備の管理状況について
7. 量目及び品質の検査について
8. 計量管理の改善活動について
9. I S O関連取得状況について
10. 教育・訓練について

※発表内容の詳細につきましては、（一社）千葉県計量協会 計量管理部会広報委員会より発行の計量管理部会報 No. 190をご参照ください。

質疑応答

Q1:トラックスケールの更新周期はどのくらいでしょうか?

A1:約20年くらいですが指示部のパソコンについては約10年くらいです。

Q2:保全システムによる保全履歴の管理と定期故障解析とありますが、保全システムは、どのようなソフトウェアをご使用されていますか?

A2:N社のCMMS(設備保全管理システム)を導入しております。

Q3:P10の教育・訓練について対象者が「計量管理要員」とありますが、これは計装関係の人でしょうか?

A3:電気計装(電気+計装)関係の方を指します。

Q4:計量管理組織について、設備管理課の下位にJSRエンジニアリングがありますが、社外のエンジニアリングも実施していますか?

A4:JSRグループ内の仕事のみ実施しており、8名が担当しております。

■D I C株式会社 千葉工場様 優良事業所発表



(発表風景 D I C株式会社 千葉工場 関 匡吉様)

1. 会社概要と千葉工場について
2. 計量管理機器の種別と台数
3. 計量管理の組織
4. 計量管理規定
5. 計量器の検査設備
6. 計量器及び管理状況
7. 量目及び品質の検査
8. 計量管理に関する改善活動と教育訓練
9. I S O関係

※発表内容の詳細につきましては、(一社)千葉県計量協会 計量管理部会広報委員会より発行の計量管理部会報 No. 190をご参照ください。

質疑応答

Q1:新規設備導入時の教育は、社外で行う教育でしょうか?それともメーカーに来てもらい社内で行うのでしょうか?

A1:新規設備を導入した際にメーカーの方に現地にて機械操作など教育して頂きます。

Q2:定期検査にて「点検周期、内容を定め」とありますが、これはどのような基準で行っていますか?

A2:法規で定められているものは、その点検周期、内容を遵守。それ以外に関しては、各製造課が定めた点検周期、内容で外部メーカーに依頼して実施しています。

Q3:P11に弊社独自のKAIZEN活動とありますが、詳細を教えてください。また、一般社員向けのQC研修会は、どのような内容で行われていますでしょうか?

A3:各設備担当者単位で品質管理に関する事、保全活動を行っており、年に4回、社外講師(専門家)による勉強会を行っています。QCに関しては、各製造課が主体となり品質管理に関する改善活動を行っております。

ご講演を頂きました、吉本様、関様 ありがとうございます。ございました。

最後に、当第2副部会長の日本製粉株式会社 千葉工場 富澤様にご挨拶をいただき、優良事業所発表会が終わりました。



(日本製粉株式会社 千葉工場 富澤様)

■ J S R株式会社 千葉工場 工場見学

五井駅と姉ヶ崎駅との中間の千種海岸に位置する「J S R株式会社千葉工場」は、東西に約 800m南北に約 300mの敷地内に 4つの製造装置を有しております。今回は、それら全ての製造装置を見学してまいりました。

まず初めに向かったのは、タイヤ、ゴルフボールの原材料となる BR (ポリブタジエン) 装置です。ここでは、ブタジエンなどの原料に触媒を加え、脱水、乾燥を経て、合成ゴム (ポリマー) が作られます。これを圧縮して「ペール」と呼ばれる 35Kg の塊に成形、包装され製品として出荷されます。タイヤ=黒色というイメージがありますが、意外な事に「ペール」は白色でした。次に訪れたのは、RB (ポリブタジエン系熱可塑性エラストマー) 装置です。

ここでは、JSR 独自のオリジナルポリマーを製造していて、同一素材なのに、自在に硬さを変えることができ、革靴等の固めの靴底から、点滴チューブのような柔らかい素材に用いる事が出来るそうです。

また、その隣にある装置は、JSR 独自の技術で光学樹脂ポリマーを製造している ARTON 装置です。何の説明も無いと、どこを見ても配管が縦横に巡り、塔やタンクが並ぶ一般的な工場ですが、この限られた区画で多くの製品が製造されていることに驚きました。

最後は、BD (ブタジエンモノマー) 装置で、他 2つの製造装置で原材料として使用されるブタジエンを C4 留分から精製するそうです。原料から製品まで、また、製造工程から発生する副産物 (汚水、排ガス) の処理も含めて、何から何まで一貫生産体制が確立された素晴らしい工場でした。

最後に、集合写真を撮影して、J S R株式会社千葉工場様での工場見学も無事終了しました。昼食を済ませて、午後から次の見学先である沢井製薬株式会社 関東工場様へ向かいました。



■ 沢井製薬株式会社 関東工場 見学

「沢井製薬」と言えばジェネリック医薬品! 「ジェネリック」と言えば沢井製薬! と誰もが思い浮かぶほど、沢井製薬株式会社はジェネリック医薬業界のリーディングカンパニーであり、かつ、フラッグシップカンパニーです。

今回は、その沢井製薬株式会社 関東工場へ工場見学に行きました。沢井製薬株式会社 関東工場は国内 7 拠点ある工場の中で 2 番目に大きい、135,916 m² (東京ドーム約 3 個分)、年間生産能力は 35 億錠を有す、最新鋭、最先端の工場です。

また、関東工場は以下 3 つの特徴を備えております。

① 垂直生産方式

4F : 秤量、造粒工程、2F : 打錠工程、1F : 包装工程と工程が進むにつれて上階から階下へ降りていきます。またこの工程は MES (製造実行システム) にて一括管理を行っています。

②人とモノとの動線を分けている

人は人専用の廊下、モノはフロービンと呼ばれる大きなステンレス製容器に入れられスタックークレーンという搬送装置で各製造室に運ばれている。また出入口も人とモノは分かれています。

③クロスコンタミネーション防止

差圧管理を行って清浄度の高い方(室内圧力が高い)から清浄度の低い方(室内圧力が低い方)へ流れるようにしています。

広大な土地にきれいな建物が立ち並びます。

A棟で全体の説明や会社紹介動画をみて、3号棟(固形剤の製造工場)で混合、造粒工程、打錠工程、包装、品質管理工程と製品が作られる順番に沿って見学させていただきました。見学の順番も垂直生産方式という感じでした。

計量協会のメンバーから見ると異業種という事もあり、興味深々で、各工程で様々な質問が飛び交い、活発で有意義な工場見学をすることが出来ました。

今回の工場見学を通じて、一番感じたことは、各工程で説明を受けた最先端技術の採用や動線の工夫、工程の工夫、品質管理のルールなど様々な説明の最終的に行きつく先は、薬を飲む人が困らないように行ってる事だと思いました。

今回の工場見学を通じて、一番感じたことは、各工程で説明を受けた最先端技術の採用や動線の工夫、工程の工夫、品質管理のルールなど様々な説明の最終的に行きつく先は、薬を飲む人が困らないように行ってる事だと思いました。

薬を飲む人の大半は、何らかの苦痛、煩わしさを持っています。

そんな薬を飲む人に、これ以上の負担を掛けさせないようにと、飲みにくい大きな薬は有効成分を維持しつつ、飲みやすいサイズに小さくしたり、苦みを遮ったり・・・

また飲み間違い防止等の目的で、錠剤自体に薬の名前を印刷したりと、あらゆるところで、患者さんの事を考えた安全、品質の確保、そして、使用者の負担軽減とまさに「なによりも患者さんのために」という企業理念を具現化した工場でした。

沢井製薬株式会社 関東工場の見学を終えて帰路につきました。

車中では、当第2副部会長の日本製粉株式会社千葉工場 富澤様よりご挨拶をいただき、17時頃に無事千葉駅に到着し解散になりました。

最後に、発表会の会場を提供、工場見学を行って頂きましたJ S R株式会社 千葉工場様、と沢井製薬株式会社 関東工場様に、心より感謝申し上げます。



適正計量管理技術講習会の概要

去る11月20日に（一社）千葉県計量協会が主催する適正計量管理技術講習会に参加いたしました。概要を以下の通り紹介いたします。

日 時 令和 元年11月20日（水） 14:00～

場 所 千葉市「暮らしのプラザ」3階 研修講義室

参加者 35名（事務局2名含む）

内 容 1) 指定検定機関制度について

講 師 大和製衡株式会社
計量検定室

部長 加門 守人 様



意見交換会

去る令和元年11月17日に開催しました意見交換会について紹介いたします

1. 日時

令和元年11月7日(木) 13:10~17:00

2. 場所

千葉市暮らしのプラザ 3階 「研修講義室」

3. 参加者

17事業所 21名

4. 次第

- (1) オリエンテーション
- (2) 外部講演
- (3) 意見・情報交換会

5. 内容

(1) オリエンテーション

千葉計量検定所所長 森田様及び、計量管理部会長 キッコーマン食品株式会社 上原様からのご挨拶の後、参加者の皆様から自己紹介を頂きました。



(2) 外部講演

新光電子株式会社 照沼様

「すばる望遠鏡の8.2m主鏡を支える音叉式力センサの役割と性能」、「音叉式天びんの特性・日常点検方法」について非常に興味深い講演が行われました。この量るセンサが無ければ「すばる望遠鏡」がまったく成り立たないということが分かり技術力のすばらしさを実感できました。



(3) 意見・情報交換会

事前アンケートから炙り出された「効率化」、「伝承」、「トラブル&予防保全」という大きく分けて3つのテーマについて活発な意見交換が行われました。今回の意見交換会が各社様のヒントとなりお役に立てれば幸いです。



次年度以降も引き続き意見交換会にご参加頂けますよう宜しくお願い致します。

千葉県計量協会 計量管理部会 意見交換会アンケート集計結果

開催日時：令和元年 11 月 7 日（木）
 場所：千葉市暮らしのプラザ 3 階 「研修講義室」
 参加人数参加事業場：17 社 21 名
 事務局：2 名
 講師：1 名
 計 24 名

1. 参加事業所 業種

あなたの事業所は？（○をつけて下さい。）

回答数	業種
2	食品製造業
-	繊維工業
8	化学製品製造業
3	石油製品製造業
-	ゴム製品製造業
-	窯業土石製品製造業
-	鉄鋼業
2	非鉄金属製造業
-	金属製品製造業
1	電気機器製造業
-	賛助会員
3	その他製造業

2. 参加者 所属部門 （複数回答可）

あなたの所属は？（○をつけて下さい。）

回答数	業種
-	品質管理部門
5	工務電気部門
7	工務計装部門
1	製造部門
-	総務部門
6	施設管理部門
2	技術管理部門
4	その他

3. 今回の意見交換会について（抜粋）

全体を通してのご意見、ご要望、ご感想等

●意見交換会内容について

- 他社の事例を理解できるものが少なかったですが勉強になりました。
- 計量、計測の話題を主として安全やその他の話もできれば良いかと思ひます。
色々な方が集まるので良い場にして下さい。
- 他業種の方が来られているので、なかなか共通の話題を選ぶのが難しいと思ひます。

●事前アンケートについて

- 事前アンケートの回答内容を項目ごとに整理して欲しい。
(類似意見もあったと思ひます。)
- 事前アンケート結果を事前に開示した方が、意見交換がより活発になると感じました。
- 人数とアンケート項目が多いとどうしても発言回数が減ってしまう。
議論内容をもう少し絞っても良いと思ひます。

●テーマについて

- 少しテーマ数を減らしてももう少し活発に意見交換できると良いと思ひます。
(今回は時間の割にテーマ数が多かったように感じました)
- テーマに関して質問する際、指名して質問すればもっと盛り上がると思ひます。
(指名された方は何なりと発言されると思ひます。)

●講演について

- 新技術等の講演をお願いします。
- 外部講演テーマは業種がバラバラのため難しいと思ひますが、業務に近いものをお願いします。

●その他

- 部会の多くの人が参加できるような対応を検討して欲しい。

4. 今後の意見交換会への要望・希望・意見等ありましたら記入をお願いします。

●外部講演に関する希望テーマ

- IoT、AI、ビッグデータ、スマート機器など使用例、活用例等の最新技術について
- 計量制度（自動はかりの検定等）に関する最新情報について
- 技術情報や故障来歴の蓄積とその活用方法や伝承方法等について
- 測定器、計量器に関する仕組、保守点検、校正方法等に関する情報

●意見交換会に関する希望テーマ

- 計量・計装技術などの技術伝承（社内教育）について
- 計量機器・装置でのトラブル事例や改善事例について
- 計量機器・装置の劣化診断、余寿命評価について
- 計量・計装業務の外注化と自社化について
- 計量業務のシステム化について
- 人員・保全費用削減下での計量・計装業務への取り組みについて
- 自動はかりの検定に対する各社の取り組み

●開催形式について

- 今回と同様でよい
- 時間の制約がありますので司会の方が問いかける形式が良いと思いますが、その回答に対して広がりがないのが気になりました。
- 事前のアンケートを集約した資料を頂ければ色々と考えておくこともできると思います

計量器・計測機器

製造・販売・修理・保守管理
計量士による代検査・ISO関係検査

計量器・計測機器に関する御用は何でもご照会下さい



ETO
恵藤計器株式会社

本社・工場

住所 〒261-0002
千葉市美浜区新港142-3
電話 043(242)0505 (代表)
FAX 043(243)2519
e-mail etokeiki@saturn.plala.or.jp

恵藤計器株式会社は国際MRA対応
JCSS認定事業者に認定されました！

キャリブレーション・サービス

計測設備の検出端から表示装置までを含めた計量管理対象機器をISO9000s、医薬品GMP、HACCPなどの要求事項に適合した形でトータルソリューションサービスをご提供いたします。

お客さまとご相談の上、適切な実施計画をたてプロセスに最適な効率のよい計量管理をご提案致します。

実施提案

計量管理

キャリブレーションの結果から周期の管理や見直し、精度管理、さらにはデータの電子化にも対応いたします。

書類の準備

計量管理全般の基準を反映させ、個別の手順書を文書化していきます。勿論、お客様のフォームにあわせた形で提出可能です。

トレーサビリティ

キャリブレーション作業に用いた計測器（標準器）はすべて国家標準にトレーサブル。各種証明書、成績書は即時発行可能です。

キャリブレーション作業

作成された手順書に従いキャリブレーション作業を実施いたします。

実施提案

- 管理対象抽出
- 精度設定
- 周期設定
- 計量管理方法設定

書類の準備

- 管理機器リスト
- 計量管理要領
- 校正手順書
- 校正計画書
- 記録書フォーム

キャリブレーション作業

- 温度計校正
- 圧力計校正
- その他の校正
- 記録書発行
- ラベル発行

計量管理

- 周期管理
- 周期の見直し
- 精度管理
- 来歴管理

提出書類

- 一般計測器成績書
- トレーサビリティ証明書
- トレーサビリティ体系図
- 上位標準器成績書

キャリブレーションサービスでは、お客さまの立場に立ち、製品品質を維持するために何を管理対象にするか、どのくらいの校正精度、校正周期が必要か、などといった問題を解決し、対象機器のリストアップから手順書作成、校正作業、データの分析、有効期限管理、さらに校正手法、校正周期の見直しに至るまで、計量管理の全てを実現、最適な計量管理を達成いたします。

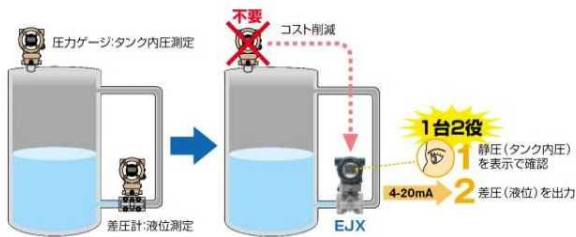
YOKOGAWA ◆

ご存知ですか?
デジタル・センシングの力!

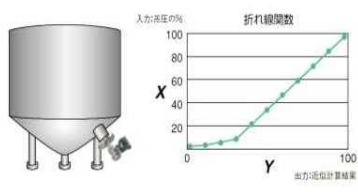
DPharpシリーズの大きな特長である「シリコンレゾナントセンサ」は、ヒステリシスが非常に小さいことで知られる単結晶シリコンのチップに、マイクロマシニング技術で2つの振動子を埋め込んだ、再現性・長期安定性に優れたセンサです。発売以来200万台以上の販売実績を持ち、世界のお客様より高い評価をうけています。



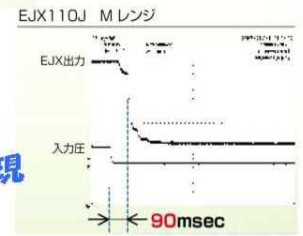
DPharp EJX™



差圧/静圧を1台で
マルチセンシング



折れ線近似出力機能で
異形タンク等ノンリニア特性にも対応
世界最高水準の
高速応答を実現



新 Asset Excellence を実現する
フィールド機器設定/情報管理ソフトウェア
FieldMate™
Versatile Device Management Wizard

総合代理店

横河電機株式会社
■ 本社 〒180-8750 東京都武蔵野市中町 2-9-32
国内プロダクト営業 1部 TEL : 0422-52-6490
横河ソリューションサービス株式会社
■ 千葉支店 〒299-0111 千葉県市原市姉崎 727-3
TEL : 0436-61-1388
2015年10月より
■ 千葉支店 〒299-0111 千葉県市原市姉崎 867

横河商事株式会社
■ 千葉支店 〒299-0111 千葉県市原市姉崎 541 小池ビル4階
TEL : 0436-61-4310
東京電機産業株式会社
■ 千葉支店 〒260-0825 千葉県千葉市中央区村田町 1211
TEL : 043-300-8611
■ 銚子営業所 〒288-0817 千葉県銚子市清川町 11-4-12
TEL : 0479-23-338

化学で彩りと快適を提案する

1908年、印刷インキの製造と販売で創業したDIC（ディーアイシー、旧 大日本インキ化学工業）は、その基礎素材である有機顔料と合成樹脂をもとに事業を拡大し、素材から加工品に至る広範な製品群を展開。現在、世界64の国と地域で174のグループ会社とともに皆様の暮らしに「彩り」と「快適」を提案しています。



dic
Color & Comfort

DIC株式会社

www.dic-global.com

東京都中央区日本橋三丁目7番20号 ディーアイシービル



私たちJSRは、さまざまな分野にさまざまなマテリアルを提供しています。ここでご紹介するのはほんの一部ですが、例えばスマートフォンや、テレビや、クルマや、医薬品を作る時などにも、私たちのマテリアルはよく使われています。そしてJSRは、これらのマテリアルをさらに進化させることで、それぞれの製品がより便利に、より楽しく、より速く、より安心して使えるようにサポートし、人々の暮らしや社会の役に立とうとしています。

可能にする、化学を。

 **JSR株式会社**

<http://www.jsr.co.jp>

《理事会だより》

1. 計量管理功労者・優良計量技術者の推薦依頼

締切：令和2年2月28日(金)

詳細は、電子メールにて送付致しました。

ご案内を参照下さい。

2. 計量管理研修見学会の開催

日程：令和2年2月12日(水)、13日(木)

場所：国立天文台 三鷹キャンパス 様、

一般財団法人 日本品質保証機構 (JQA) 計量計測センター 様、

サントリー天然水 南アルプス白州工場 様、株式会社桔梗屋 様

詳細は、電子メールにて送付致しました。

ご案内を参照下さい。

3. ポスター・標語の募集

令和2年1月17日(金)末日までに事務局に送付又は
持参をお願いいたします。

ご協力よろしく願います。

4. 計量管理実施状況調査書の提出依頼

受付は終了しました。

ご協力ありがとうございました。



謹 賀 新 年

部会長	キッコーマン食品株式会社	野田工場
副部会長	ライオン株式会社	千葉工場
理事	日鉄テックスエンジニア株式会社	君津支店
恵藤計器株式会社		
株式会社フジクラ	佐倉事業所	
日本エマソン株式会社	千葉ソリューションセンター	
神東塗料株式会社	千葉事業所	
三井・ダウポリケミカル株式会社	千葉工場	
米屋株式会社	第二工場	
アズビル株式会社	千葉営業所	
東京計装株式会社		
ヤマサ醤油株式会社		
JSR株式会社	千葉工場	
横河ソリューションサービス株式会社	千葉支店	